

美波町 議会だより

第42号 平成28年9月定例会

平成27年度決算認定 …… p2

9月定例会の概要 …… p4

一般質問 …… p8



『秋まつり』



平成27年度一般・特別・公営企業会計の決算認める！

平成27年度一般会計・特別会計および公営企業会計決算について審議を行い、一般・特別会計では歳入総額 10,927,461 千円、歳出総額 10,567,420 千円を認定し、公営企業会計についても認定した。

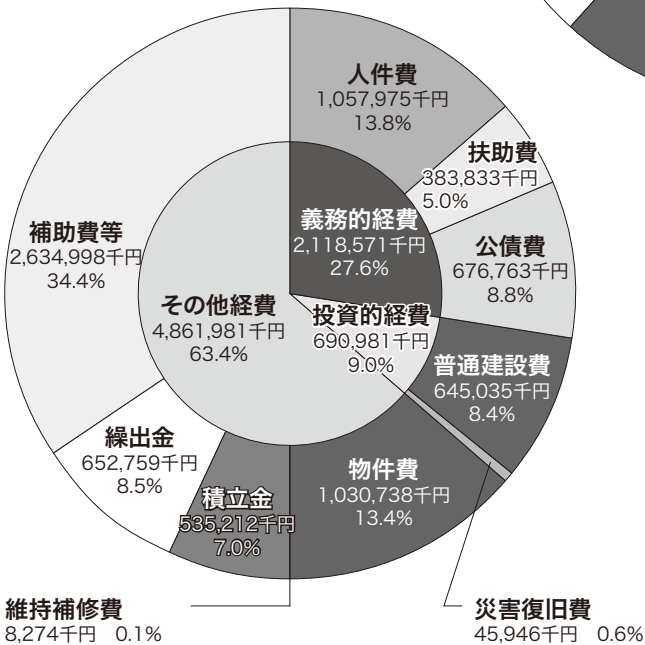
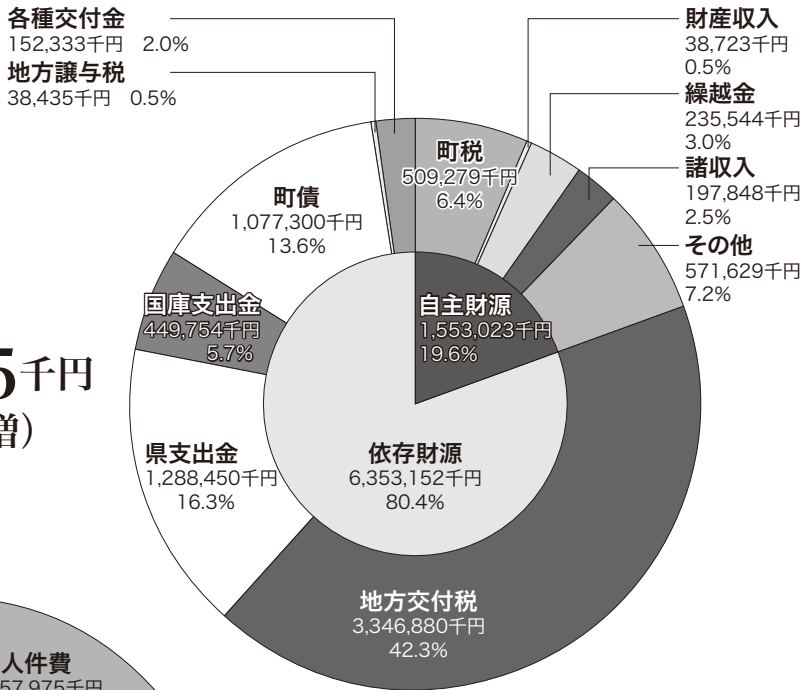
歳入

一般会計

歳入総額

7,906,175千円

(前年度比 28.2%増)



歳出

一般会計

歳出総額

7,671,533千円

(前年度比 29.3%増)

特別会計

(千円)

特別会計	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	1,236,266	1,236,100
住宅改良資金貸付	—	—
育英奨学貸付	17,822	16,200
赤河内財産区	9,433	184
簡易水道	159,964	139,591
漁業集落排水	19,636	19,604
公共下水道	125,268	119,731
介護保険	1,277,692	1,198,314
診療所	37,548	31,853
後期高齢医療	137,657	134,310

公営企業会計

水道事業

(千円)

	総収益	総費用
平成27年度	83,486	81,007
平成26年度	78,498	71,818

病院事業

(千円)

	経常収益		経常費用
		自己収益	
日和佐	357,252	204,575	371,184
由岐	455,061	339,744	601,221
美波	52,325	48,138	276,788

一般・特別・公営企業会計の決算認定

総務産業建設委員会所管分の審議

質問

固定資産税の滞納繰越分の収納率が非常に悪いが、なぜか。

答弁

登記簿上はそのままだが、倒産・廃業している状態の法人がかなりの金額を占めていて、徴収することが出来ない状態になっている。

質問

ジビエがどのような経緯で中止されたのか。

答弁



いのしし肉

適切な場所がないのと、主体となってくれるグループがない。また加工をして、いこうとすると、獣医師のような資格を持った方、また厚生労働省

が定める研修を受講しなければ資格は得られないなど、だんだん厳しいものになっている。定住自立圏で牟岐・海陽が加わる中で、議論は継続し、役割分担ができ実現できるようであれば、そのような方向で進んでいきたい。

文教厚生委員会所管分の審議

質問

櫛ヶ谷公営住宅防水工事の内容は。

答弁

公営住宅2棟の屋上の防水シートが飛んだため、下地処理にはウレタンプラスアスファルトのハイブリットの塗装材を用い、その上に防水工事として、高強度高伸縮型のウレタン塗膜防水を行っている。

質問

施設の措置費が施設によって金額の差があるのはなぜか、また入所施設の設定はどのようにしているのか。

答弁

施設ごとの単価は、その施設の加算状況によって違ってくる。羽ノ浦荘が非常に高いのは、盲人の方にも対応した施設であるためである。施設の入所先は、まず施設の空き状況が第一条件として、地域ケア会議の中にあるケアマネージャーや保健師等で構成されたサービス部会で決定している。



町営櫛ヶ谷住宅

9月定例会の概要

平成28年第3回定例会は平成28年9月15日から9月23日までの9日間開催しました。

影治町長より、9月議会

以降の町政の進捗及び定例会に提案されている認定2件、報告2件、町道路線変更議案1件、条例議案1件、補正予算議案6件、契約議案1件について提案理由の説明がありました。

議案の内容

◆議案第48号平成28年度美波町一般会計補正予算(第2号)

●総務費

質疑

空き家対策推進事業委託料は(375千円)。

答弁

空き家の痛み具合を判定する空き家判定士という認定制度が設けられている。建築士の方が判定士の免許を取られているので、その方に委託する。

質疑

賦課徴収費町税費の固定資産土地鑑定評価委託料は(454千円)どこの何件の調査か。

答弁

由岐地区24件分・日和佐地区57件分の追加の分の25件分と予備10件の合計35件分。

質疑

工事請負費の中の4,000千円の電柱の移動、どういうやり方をするのか。

答弁

役場前にある電柱の新たな建て替えにより、負担分が掛かる。今後の管理のことを考えて、自営柱を建てる費用。

●民生費

質疑

障害者福祉費システム改修委託料の内容は(1,537千円)。

答弁

ひとり親家庭医療制度改正に伴うシステム改修費である。

質疑

地域交流支援センター費 支障木伐採委託は(150千円)どこの支障木か。

答弁

旧の由岐保育所の校門を入って左側の桜の木のこと、枝が電線にかかり、台風が接近していたので急遽伐採させてもらった。

●衛生費

質疑

医療保健センターの光ケールブルの工事請負費はどこが請け負うのか(17,325千円)。

答弁

まだ業者については選定していない。

●農林水産費

質疑

町有林整備委託料は(7,000千円)どこに委託をするのか、その価格の請負基準は考えているのか。

答弁

個別の単価は、1本の単価からはじまり、防護ネット・人件費等積み上げた費用。委託先については森林組合等の林業事業者に委託する予定である。

●商工費

質疑

道の駅サテライトステーション推進協議会の内容は。

答弁

道の駅を核にぽっぽマリオン、カレッタ、サンライン第1展望台、モラスコ牟岐をサテライトと位置付け、周遊できる取り組みを、県民局主導で、県民局・美波町・牟岐町で協議会をつくった。

●教育費

質疑

公民館費整備事業は(3,100千円)西河内公民館の修繕と聞いたが、地元負担額は。

答弁

雨漏りということでは基盤の本体に係る分、今回は負担金なし。屋根・天井の修繕等内部の工事があれば地元負担をいただく。

◆議案第51号平成28年度美波町介護保険事業特別補正予算(第2号)

質疑

今回の介護予防ケアマネーメント事業の増員は臨時的な措置か。

答弁

ケアマネの退職を見越して、28年度引き継ぎを兼ねた増員となっている。



議長
の
主な
活動
状況

(平成28年6月定例会

～平成28年9月定例会)

6月27日 美波町老人大学開校式

7月8日、8月19日

南阿波定住自立圏共生
ビジョン懇談会

8月1日 阿南市地域医療確立対
策協議会

8月4日 海部郡防犯連合会総会

8月9日 徳島県南部地区四国横
断自動車建設促進期成
同盟会総会

8月13日 三豊市・たくま港まつり

8月24日 海部郡中学校生徒弁論
大会

8月25日 宮崎県串間市行政視察
(受入対応)

◆ 各議員の出欠状況 (平成28年6月定例会～平成28年9月定例会) ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…－ (6月16・18・19日、7月14日旧委員出席)

日付・会議等		議 員 名											
		舩田邦人	岩瀬公	江本昇	北山朝彦	川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏	中川尚毅
6月13日	医療特別委員会	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	○	○
16日	議会広報特別委員会	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○
17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17日	防災対策特別委員会	○	△	○	△	△	○	○	○	△	△	○	△
18日	議会だより報告会 (由岐)	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○
19日	議会だより報告会 (日和佐)	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○
7月 6日	議会広報特別委員会	○	－	－	－	△	○	－	○	－	○	○	－
14日	議会広報特別委員会 (クリニック)	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	－	○
19日	議員研修 (徳島市)	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
27日	文教厚生委員会	○	○	－	○	△	－	△	△	○	○	－	○
28日	防災対策特別委員会	○	△	○	－	△	○	×	○	－	△	○	△
28日	議会広報特別委員会	○	－	－	－	－	○	－	○	－	×	○	－
8月10日	テレビ中継特別委員会	－	△	－	○	△	－	○	○	○	○	－	○
22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23日	町村議会広報誌作成講座	○	－	－	－	－	○	－	○	－	○	○	－
25日	テレビ中継特別委員会 (日和佐)	－	－	－	○	△	－	○	○	○	○	－	○
26日	テレビ中継特別委員会 (由岐)	－	－	－	○	△	－	○	○	○	○	－	○
9月 7日	テレビ中継特別委員会	－	－	－	○	－	－	×	○	○	○	－	○
8日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
8日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ 議長…◎ 賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

議 案	議 員 名											結 果	
	舩田邦人	岩瀬公昇	江本昇	北山朝彦	◎川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏		中川尚毅
議案第54号 生きがい交流空間整備工事（第2分割）	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	可 決
請願第 1号 臨時国会でTPP協定を批准しないことを求める請願	×	×	×	退	—	×	○	×	○	×	×	○	不採択

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。
採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案	議 員	結 果
認定第 1号 平成27年度美波町公営企業会計決算の認定について		認 定
認定第 2号 平成27年度美波町歳入歳出決算の認定について		
報告第 5号 平成27年度決算における健全化判断比率について		承 認
報告第 6号 平成27年度決算における資金不足比率について		
議案第46号 町道路線の変更について	全 会 一 致	可 決
議案第47号 美波町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例（条例第12号）		
議案第48号 平成28年度 美波町一般会計補正予算（第2号）		
議案第49号 平成28年度 美波町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第50号 平成28年度 美波町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		
議案第51号 平成28年度 美波町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		
議案第52号 平成28年度 美波町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）		
議案第53号 平成28年度 美波町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
議案第54号 生きがい交流空間整備工事（第2分割）請負契約の締結について		

文教厚生常任委員会報告

平成 28 年 7 月 27 日（水）に委員全員と議員 3 名の出席の下、委員会を開催しました。

議 題

① 木岐苦越共同墓地について

最初に住民生活課から説明を受けました。

説明の概要

申請者 宗教法人 春日大社 勝浦郡勝浦町

場 所 木岐苦越

工事の概要

名 称 海辺の樹林葬

面 積 1,683.32㎡（台帳） 1,471.97㎡（実測）

構造等 RC カルバート（高さ 0.85m×幅 1.20m）

100～150 個、1 個に 150 霊葬り 1 本の樹木を植える

町の対応等

現段階は、墓地の許可申請手続きについての相談があったところである。

今後は、地元議員や町内会長と相談しながら慎重に事務を進め、正式な申請があれば墓地埋葬等に関する法律や自然公園法等の下に県の指導をいただき審査を行ないたい。

【委員・議員からの質問と回答】

Q 1 なぜ美波町で行うのか。

A 海辺の樹林葬という銘をうっている。

Q 2 近隣の民家の承諾は。

A 半径 100 メートル以内にある住居には配慮がいるようである。

Q 3 申請者はどういった法人なのか。

A 詳しくは把握していないが今後必要に応じて確認が必要だと思っている。

Q 4 当該計画地付近に他に何かの実施計画があれば施工の支障になるのでは。

A 今のところ計画はない。

その他、議員からは地元への説明会を行ってほしい要望がありました。

このことにより、町は地元説明会を開催する予定です。

② ごみ焼却施設等について

この件については、目下、地元牟岐町議会で移転場所等について議論を重ねられており、美波町長から改めて議員全員へ説明したいという意向があり、説明を受けました。

議員研修報告

① 徳島県町村議会議員研修会

平成 28 年 7 月 19 日、徳島グランビイリオホテル ホールにて研修会が開催されました。

今研修会には、平成 28 年 1 月 6 日に締結された「徳島県議会、徳島市議会議長会、徳島県町村議会議長会の連結協定」に基づき、県議会、市議会議長会にも参加呼びかけがなされました。

講師に、国際政治・軍事アナリストの小川和久氏と福山大学客員教授田中秀征氏を迎え、世界の平和の秩序としての集団安全保障について、また最近の政治と経済について、研修しました。

② 四国地区町村議会議長会研修会

平成 28 年 10 月 13 日、高松レクザムホールにて、研修会が開催されました。

講師に、名城大学教授 昇秀樹氏と東京大学准教授 松本真由美氏を迎え、人口減少と地方議会の在り方、また地球のエネルギー問題と課題について研修しました。

一般質問

1 美波町国土強靱化地域計画の推進に向けて

弁 サテライトオフィスや建築士会とも連携を取りながら、新しい防災・減災対策の活用方法についても検討を進めたい



議員 寺下 博子

質問

重要業績指標に目標値を設定しているが、具体的にどのように取り組むのか。

●近藤消防防災課長

事業ごとに担当課を記載し、可能なものから事業実施を進める。管理体制については、担当課ごと進捗管理を行うとともに、施策等の見直しはPDCAサイクルを繰り返し、適切に行う。

質問

リーディングプロジェクト（重点施策）は、強靱なまちづくりのための重要な指針となるが、地域や町民・企業との情報共有や協力体制の今後の取り組みは。

●近藤消防防災課長

3つの柱として、「高台整備構想を主とする事前防災・減災対策」「サテライトオフィス等のICTを活用した防災・減災対策」「住民の自主的な活動による防災・減災対策」を美波町独自の取り組みとして掲げる。高台等の津波浸水想定区域外への公共施設等の移転及

び避難所の確保、木造住宅等の耐震化などのハード事業、自主防災会における避難所運営訓練を実施し、地域住民との連携やコミュニケーションを図るなどソフト事業も積極的に行う。

(注) ICT

情報処理や通信に関連する技術・産業・設備・サービスなどの総称。

2 小中一貫教育の検討は

弁 徳島モデル調査研究の成果を踏まえて、今後の在り方を検討したい

質問

統廃合に頼らない新しい学校づくりの1つである小中一貫教育について、本町ではどのように考えているか。

●寺内教育長

小中一貫教育により、どのような取り組みが可能となり、どのような効果があるのか、徳島モデル調査研究の成

質問

計画推進には大きな費用を伴うが、財政的な課題への対応は。

●近藤消防防災課長

国土強靱化地域計画を策定した自治体に対しては、補助事業として重点的に配分されることから、積極的に事業展開していきたい。

果を踏まえて検討したい。

質問

平成32年度から、小学5・6年の英語が教科化され、専門性が高まる中で、小中一貫教育を導入することで将来的にも、その強みを生かせると思うがどうか。

●寺内教育長

現在、小学校教諭で、英

語免許状を保有する教諭は在籍していない。小中一貫教育導入により、乗り入れ授業を行うことで英語免許状を持つ中学校教諭による英語指導が可能となることから、有効な取り組みになると考える。

質問

中学校の部活動の集団規模について、以前からも大きな課題となっているが、現況と今後の方向性について伺いたい。

●寺内教育長

日和佐中学校は、全ての部で各大会に参加できる部員が在籍しているが、由岐中学校は生徒数の減少により、他中学との合同チーム編成や、個人戦のみの参加という状況である。部活動に関しては、学校が主体的に調整を図っているのので、教育委員会としては、助言や支援を行いたい。

①法改正で人事評価のやり方が変わり、業務日誌のような記録が不可欠になる

弁 業務記録は重要と思う。実施方法を考え、公正・透明な人事評価をしたい



議員 北山 朝彦

質問

地方公務員法の改正により、町は人事評価マニュアル・人事評価者マニュアルを作ったが、なんの問題もなくスムーズに実践できているか。

●磯野総務企画課長

職員は、6月末までに面談の上、業務目標を設定、管理職は8月上旬に目標設定を行った。今後、来年2月頃目標達成状況等の自己申告と評価者の期末面談を実施する予定。今のところ困難性とか課題、問題点は認められない。

か。業績評価では「目標を定量化し、より具体的に表現する」とあるがそのように出来ているのか。次に、今回の監査で、昨年の指摘事項や意見書に対する措置

報告では殆ど全て



が実行できていないとの結果が出た。また報告書にしても具体的事象の記録がなく、実証性に乏しく、信憑性の低い文書が多かった。能力評価・業績評価を公正公平で透明性の高い評価を行うためには、日常の研修記録・事業記録等業務日誌のような記録が必要不可欠であると思うが、町長の所見を伺う。

●影治町長

今回人事評価をするにあたって、議員の言われたことは重要な点と思う。今後、総務企画課の中で人事評価の主管課としてやっていくが、課題も起きてくると思う。今回、法の改正で法的に位置づけられたの

で、きつちりやっついていかなければいけないと思うので、課題は乗り越えていかねばならないと考えている。

質問

実績記録・業務記録が重要であるとの認識はされているが、業務日誌のような記録を実行するのかしないのか不明確になっている。しかし、評価は実績記録・業務記録等々、確かな記録によらずして正しい公平な透明性のある評価はできないと思う。

●磯野総務企画課長

業績評価と能力評価のうち、業績評価の方で各職員の目標を設定している。評価については初めてであることから、人材育成に重点をおいて進める。

●影治町長

人事評価は、目標設定と年度末に出た結果との差が業績評価になってくる。業務日誌については、非常に良い案で、必要なことと思っており、各課で実施することになるかと思う。

議員から提案のあった件は、日々の業務また今回の人事評価に活かしていきたいと思っている。

質問

今回の人事評価の目的についても、客観性及び透明性のある評価ということになれば、記録を根拠にしなければ、実現は図れないと思う。現在出来ている職員各自の目標については、見せてもらいたい。

質問

町のマニュアルを見て、能力評価・業績評価をどのように行うのか大変難しい作業になると感じた。例えば、能力評価では「優秀な職員のとる行動を、求められる行動と位置付ける」とあるが、優秀な職員像及びその行動は設定しているの



①サンクス裏山の高台造成開発について

弁 緊急性の高い施設、子ども園、防災公園の
答 早期完成を目指して進めていく



議員 博 戎野

質問

仮設住宅用地及び子ども園用地としての高台開発造成構想の調査・設計委託(計7千万円)の結果と見直し、計画概要と今後の進め方はどのようになったのか。どの地区の被災者を対象に仮設住宅建設予定戸数はいくらなのか。こども園、防災公園(住宅用地)等それぞれの規模で造成するのか。その費用と財源、町負担分は幾らか。こども園を避難施設の整った日和佐診療所(避難階3階)の付近に建設し、常時避難誘導し易い所へ再検討できないのか。

●鶴木建設課長

日和佐地区市街地の大部分が津波浸水想定区域となっており津波・災害時の行政機能維持のため、公共施設等については浸水想定区域外である高台等への移転整備に取り組み。2次避難所を兼ねた防災公園、日和佐こども園その他公共施設の高台移転整備をしていく。子ども園児の保護者のアンケートを踏まえ27年度に地質調査等測量が完了、現在進入路の検討、地籍調査を実施しており、今後、造成の基本設計、道路測量調査等を行う。

●影治町長

日和佐こども園の保護者と未就園児の保護者(計71世帯回答)の約9割からの高台移転賛成もあり「道の駅、ひわさ」西整備する方針である。防災公園は仮設住宅にも自衛隊の駐屯にも

使える。仮設住宅戸数の具体的な数は掴んでいない。造成規模は約73,000㎡(7・3ha)全体の概算事業費は約46億円(国等の補助19億円、起債26億円で町費1億円)。実施設計等が始まると、この金額で取まるか、もう少し正確な数字が出てくるであろう。

再質問

防災公園の仮設住宅用地であれば水高や日高のグラウンド、山河内玉厨子農村公園及び耕作放棄地や遊休地の借用で代替用地は出来るのではないかと。代替案での見直しはしないのか。

●影治町長

美波町が東日本大震災のような被害を受けた場合、とても7haの防災公園では足りないのでは。発災時には農家の方と協定して協力をして頂く。起債分も過疎債等を使うことで約3割の町負担(7億円)でいける方向で進めている。

②避難タワーの整備内容は

弁 一次的な避難場所として設置するもので、
答 現在設計中である

質問

奥河内地区及び東町日和佐グランド横の新規整備、戎町既存タワー改築の3避難タワーの整備計画において、奥河内の避難ビルでは3階建てで避難スペースには男女別固定トイレと備蓄倉庫

ではなく奥河内避難ビルのように男女固定トイレを設置すべきではないか。避難路の確保のために電柱地下埋設化を要請していくべきではないか。ブロック塀から生け垣緑化へ推進補助金条例化で町並み景観向上と

があり2次避難所としても使いやすいが、代わりになるが用地交渉等その後の進展は、日和佐浦グラウンド避難タワー及び戎町避難タワーの避難スペース3階にピニールカーテンではなく、側壁を設けて防寒・防雨対策を行うべきではないか。また、簡易便器



避難タワー

防災対策を図ってはどうか。
●近藤防災課長

奥河町地区の避難タワーは地権者との用地交渉を行っている状況で実施設計には至っていない。避難タワーは滞在期間を1日とした一次避難施設で設計しており、東町避難タワー（2・3階避難スペース…240人収容、高さ8m）も戎町避難タワー（3階避難スペース60人収容、高さ8m来年着工）も壁面はビニールカーテンによる防風対策で雨露、風をしのご場所として十分である。屋根付きで簡易トイレを使用できるトイレブース（区画）と備蓄倉庫が置けるスペースがある。

●鶴木建設課長

各種補助事業を活用してブロック塀の撤去に努めた。電柱の地中化、生け垣は景観及び防災力の向上のメリットがあるが復旧に要する時間、建設費、剪定等の維持管理費の問題、費用対効果など、今後検討する必要があると考える。

1 事前復興計画の進捗状況は

答 弁 国土強靱化地域計画との整合性も
図りながら進めてゆく



議員 永本善次郎

質問

南海トラフ3連動地震、同時に来る大津波で本町では2,400人の人命が失われ住宅のほとんどが流失、又は焼失すると言われて数年になる。特に由岐地区では住宅の97%が浸水する恐

れがある。事前復興計画は本町の最重要課題である。進捗状況を聞きたい。

●近藤防災消防課長

平成26年に実施した事前復興まちづくりに関する住民意向調査をもとに、一次避難場所、二次避難場所、仮設住宅、失われた住宅の再建を時系列に沿って土地利用等の整理を進めている。町の国土強靱化地域計画との整合性も図りながら、それぞれの地区を単位として住民の意見を伺いながら計画を早急に進めて行く。

質問

町長にお聞きしたい。現在民間の社会福祉法人では1階を高床式で2階以上を入所室にしたもの。または建物全体を高台移転したもの、万全の津波浸水対策が施されている。97%の住



宅の浸水が予測される由岐地区で高台開発が進まないのはどうしてか。また以前にも質問したが、命の山構想（人工の山）方式を採用する意思はないのか伺いたい。

●影治町長

本町は津波に対してあらゆる面で脆弱だ。命の山構想については検討したが、

用地難のため避難タワー方式を進めている。由岐地区の高台整備については、ねりんん移転地より東側の水田を対象に自主防災会・県の建築士会・徳島大学等合同で住宅地コンペを実施している。住民関係者の支援・協力を求めたい。

2 ナマズの養殖とヤギの飼育の調査研究

答 弁 弁 ナマズの養殖・ヤギの飼育は着手は出来ない



質問

ナマズは、近畿大学のマグロ研究室がうなぎ資源の枯渇を補うためにウナギ味のナマズ養殖研究を進めている。また、広島県の油木高校でも生徒たちが鋭意研究している。美波町で飼育の調査を研究するべきと思つ。

●小坂産業振興課長

農地をナマズの養殖地に変更する場合、事前に農地

転用が必要となるが、多くが農業振興地域に指定されており容易ではない。先行事例を見ると、養殖池を造成する経費、水の便・進入路等の場所の選定、稚魚から成魚には2年〜3年かかり、孵化から稚魚への種苗生産技術については、かなり難しいものがある。西日本にはナマズの食文化はなく、広域な販路の確保が容易ではないため、現在のところナマズの養殖を調査研究の対象とは考えていない。

質問

私が試験的にヤギを飼育しているが、10aで約10頭の放牧が出来るかと理解している。農家の高齢者が年間5頭の子ヤギを繁殖させれば50万円の収入が得られる。単純計算のとおりはいかないが、調査研究を進めるべきと思う。



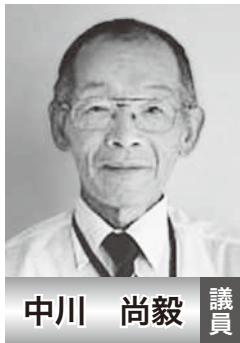
●小坂産業振興課長

ヤギの飼育については、自己責任でやって頂ければ良いと思う。町が推奨し、躯体のレンタルや購入あるいは小屋の整備等に補助金を出してまで取り組むテーマとは考えていない。なお販売等を目的に飼育

の場合、第1種動物取扱業者の届出が必要になる。事業者ごとに1名以上の常勤かつ専属の動物取扱責任者を選任し、毎年研修が必要であり、その登録については、5年ごとの更新が必要。以上のことから、着手は出来ないものと認識している。

① 地域計画に公民館移転、防災拠点施設を明記すべきでは

答 弁
既存施設の活用や、テント泊など1・5次避難所を検討して行く



議員 中川 尚毅

●近藤消防防災課長
民館の移転または防災拠点施設の新社を明記すべきだ。

●近藤消防防災課長
町内の津波浸水区域全体で避難所が不足している。今年度、事前復興まちづくり計画や自主防災会連合会で土地利用の在り方について検討するが、新たに公民館や避難所を整備するのではなく、既存の施設や山間部の施設や集会所、町

質問

美波町国土強靱化地域計画に、由岐・木岐・日和佐浦など津波時の指定避難所がない地域については、公

外の施設を利用できないか、テント泊や民泊、町有林や町道敷などの空き地を活用した1・5次避難場所など、美波町国土強靱化地域計画に基づいて検討を進める。新しく施設、避難所をつくるのは避難時の利用を考えると難しい。

●影治町長

今年、事前復興まちづくり計画を11カ所の地域でやる。各地区で十分議論して計画を立てたら、町は財源を探しながら優先順位をつけてやっていく。

② 議会と行政との関係

答 弁
議会内部の問題である

質問

議案は早く提示し、説明はもつと詳しくしてほしい。議会は公開が原則であり、秘密会の要請は最小限にしてもらいたい。昨年10月14日の全員協議会で、傍聴者を退席させた件に関して、当時の議長は『町長が秘密会にしてしまったので傍聴者を退席させた』といっている。町長は秘密会を要請したのか。

●影治町長

議案は開会の1週間前の議会運営委員会の際に渡しており、遅くはないと考えている。またそのとき事前に説明もしているが、議会内部の問題であり、意見調整して議会からの要望があれば詳しい説明はする。昨年の件については、秘密会を要請していない。『議員報告をしたいので』とお願いした。

美波町観光協会との 意見交換会

9月27日(火) 日和佐公民館3階 大会議室において

美波町観光協会との意見交換会が行われました。各グループに分かれての「車座会議」という方式です。観光協会会員の方と議員が参加、観光対策全般について話し合いを行いました。

- ・ウミガメの上陸が減少しつつあるが歯止めは
- ・日和佐川のトイレの充実を
- ・明丸海岸サンゴを観光に
- ・大浜海岸の恋人岬を定期的な木の伐採を



- ・古民家等を利用して宿泊施設に
 - ・観光協会の釣り具レンタルは人気が上がって来た
 - ・食堂等が少ないのが残念
 - ・六次産業と観光を一体化して労働人口を増やす
 - ・よくばり体験の受け入れ先が少ない
 - ・田井ノ浜駐車場は無料だが有料化すれば 等
- さまざま意見が出て、和気あいあいの中にも真剣にその思いを述べて頂きました。今後そんな意見や要望を行政側に伝え、また議会も協力し、まちづくり、まちの活性化に取り組みたいと思います。



命山「希望の丘」現地視察

防災対策特別委員会では、小松島市に建設された西日本初の命山「希望の丘」の現地視察とこれまでの経過を伺うため、10月17日に、小松島市を訪問しました。

本町と現地の津波到着時間や浸水高の違い等もあり、それぞれの地域の実情により検討・精査が必要であると感じました。

当委員会では、11月7・8日も三重県大紀町と和歌山県串本町の防災の取り組みについて研修視察を行う予定です。



命山の視察



大海原の朝焼け 田井ノ浜から東の海岸を望む

美波町の海岸線はその景観美から室戸・阿南海岸国定公園に指定されています。

一方、私たちの生活は台風など自然の猛威にさらされますが、日々移り変わる情景は私たちに夢や希望を与え、新しい美波町の夜明けを感じさせられるものです。

編集後記

「地方創生」という言葉を誰もが耳にする社会となった今、美波町の魅力や特徴を生かし、私たち住民が行政とともに、まちづくりを主体的に進める時代になっているのだと感じます。町でも、様々な施策事業に取り組んでいることが NEWING からも分かります。情報を広く周知し、生かす環境を整えることも、まちづくりの一歩です。議会だよりにおいても、分かりやすい内容、読みやすい紙面づくりに、今後も取り組んでまいります。

(編集委員：寺下博子)

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：松本 晋児 副委員長：寺下 博子 委員：舛田 邦人 委員：向山 篤宏 委員：丸龍 孝敏